

課の経営戦略シート

作成日	平成22年5月20日
部署	議会事務局
作成者	麻生文雄

課名	議会事務局	課長氏名	麻生文雄	班の数	1
----	-------	------	------	-----	---

1. 課を取り巻く環境と求められる方向性

課を取り巻く環境と求められる方向性	<p>議会は、法律、条例、規則、議員の申し合わせ事項等に基づいて適正に運営されているが、より一層適正・円滑な状態となるよう支援していかなければならない。</p> <p>常に改革を意識し、町民からの要請及び近隣市町村の動向を注視し、改革に向け積極的に支援する。</p> <p>町の厳しい行財政事情の中で、町民の行政に対する期待も大きく、必然的に議会に対する関心も高まってきている。議会の補助機関として、円滑な会議運営及び委員会運営のために職員は、平素から法律、条例、規則、行政実例、判例、先例はもちろん、他市町村の行政事務の内容や施行状況などを調査・研究しているが、今後は、さらにどんな事態にも対処しえる能力を備えるために、より高度な知識の習得に努め、そのために必要な研修等にも、参加するものとする。</p> <p>また、町民に対する議会の情報の提供については、開会中の傍聴者への議案の貸し出し、閉会後の議会ホームページへの掲載、「議会だより」の発行などについても、議会に対する理解や関心が高まるように工夫、改善していく必要がある。</p>
-------------------	---

2. 課の展望、目標、使命

課の展望 課が目指す町民生活や地域社会の姿	議会の補助機関として、職員がどのような事態にも臨機応変の措置を講じることにより、会議が常に法律等に基づき円滑に運営されている。 町民が会議内容を広く知ることができており、議会に対する理解や関心が高まっている。				
課の目標 課の展望を数値で具体化したもの。H22年度末の達成目標	指 標	H21 目標値	(H21)実 績見込値	H22 目標値	備 考 (指標の説明、目標値の根拠、データ取得方法 等)
	審議の渋滞による会期の延長又は会議時間の延長	0件	0件	0件	会期の延長 会議時間の延長
	議会傍聴者数	180人	168人	200人	年度間の傍聴者総数 18年度実績を基本(134)として、毎年10%アップ
	議会ホームページへのアクセス件数	9,500件	10,066件	10,000件	年度間のホームページへのアクセス総数 18年度実績を基本(7,651)として毎年10%アップ
課の使命 上記展望を実現するために、課が果たすべき役割	職員は、会議の運営に当たっての起こり得るあらゆる問題に対処できる知識・技術を習得し、どのような事態にも対処できるようスキルアップに努め、常に円滑な議会運営をめざす。 町民が議会に対する理解や関心が高まるように、議会の情報を速やかに提供する。				

3. 課の経営方針

課の経営方針 (平成22年度)	<p>1. 議会は、法律、条例、規則、議員の申し合わせ事項等に基づいて円滑に運営されており、またその為の支援をする。</p> <p>2. 議会における改革の取り組みについて、積極的に支援する。</p> <p>3. 議会の補助機関として、どのような事態にも臨機応変の措置を講ずることにより、議会及び各委員会が円滑に運営されることを目指す。</p> <p>4. 3を目指すために職員は、平素から法律、条例、規則、行政実例、判例、先例はもちろん、他市町村の行政事務の内容や 施行状況などを調査・研究し、知識の習得に努める。</p> <p>5. 町民が議会に対する理解や関心が高まるように、議会の情報を町の広報・インターネットを利用することで、より速やかに、 広く提供する。</p>
--------------------	---

4. 施策の優先度

班 名	施 策 名	特性分類	成果の 方向性	資源投入の方向性			優先度
				事業費	人員	地域資源	
議会班	円滑な議会運営の支援	B					B
議会班	情報共有の推進	B					B

5. 平成21年度の課の経営方針及び取り組み結果

N0	平成21年度取り組み	平成21年度取り組み結果
1	情報共有の推進として、議会事務局では、「議会からのお知らせ」として定例会前に議会日程等について回覧を実施。	議会開会前に配布する「議会からのお知らせ」、開会中の傍聴者への議案の貸出し、閉会後の議会ホームページへの掲載、議会だよりの発行
2	円滑な議会運営の支援として職員研修・議員研修への参加	議員研修として、「水循環の視点からとらえた印旛沼の現状と課題」について河川協会会長の講師による研修会を実施
3		
4		